

# 伸縮装置取替工 作業手順



内 容	留 意 事 項
作業打ち合わせ(KY活動) 作業内容、人員の確認 保護具の点検 使用機械、資材、工具の点検	安全作業指示書による 指示書の内容確認 保護メガネ、マスク、ゴム手袋等 日常点検の実施(老朽化した部品は交換する)
コンクリートカッターで施工予定ラインに沿って舗装を切断する	センターライン付近の作業は、一般車の接近に注意する 切断中にノロが流出しないようウエス等で養生する 機械使用後は、水抜きを行い、歯止めをして路肩等車道端部に置く ブレード付近に、手、足を近づけない。
舗装及び床版コンクリートをブレーカー、ピック等を使用して、はつり取る <b>床版コンクリートのはつりは、浮きがないよう丁寧に仕上げる</b> はつり終了後は、綺麗に、清掃する	センターライン付近のはつり作業は、一般車の接近に注意する 車線側には、必ず飛散防止ネットを設置する。 <b>飛散防止ネットの設置・撤去は別途定めた手順書によること</b> 作業に合った保護具を装着する
廃材はトラックに積み込み、所定の処分場に運搬し、処理を依頼する (マニフェストの提出)	粉塵防止のための散水や橋梁下にコンクリート片を落下させないためにシート、ウレタンフォーム等で養生する
あらかじめ組み立ててある伸縮装置を、ユニックを使用して所定の箇所に設置する。 エアードリルで削孔しアンカーを打設する。 補強鉄筋の溶接を行う	有資格者による、機械作業を行う 吊り荷の下へは絶対立ち入らないこと 削孔中は、散水など粉塵対策を行う 溶接時には、消化器等を用意し火災に十分備える。
ジェットモバイル車で調合した超速硬コンクリートを打設する コンクリート打設は、打設高さが水平になるよう行ってパイブレーターを5～10秒程度掛ける。 打設後は、素早く金鍍仕上げを行う	車輛の移動時には、必ず誘導を行う センターライン付近の打設作業は一般車の接近に注意する <b>パイブレータによる横流しは絶対に行わない</b>
皮膜養生剤及びシートを使用し規定の時間を養生を行う	シート養生の場合は、風等での飛散防止処置を行う 開放可能強度 24N/mm <sup>2</sup> 以上
使用した道具、機材、余った材料等をトラックに積み込み、最後に竹ぼうきなどで清掃する。舗装表面に付着したノロ等も取り除く(車両のスリップ防止)	使用した道具等は、現場に忘れ物が無いように確認する。 はつりかす、材料かすが無い様に、綺麗に清掃する。
終礼の実施	ヒヤリハットの実施

## 注意事項

- 作業に合った保護具を装着する
- センターライン付近の作業は、はみ出し規制(道交法80条協議)によるものとし、一般車の接近に充分注意する(保安員を配置)
- 各機械作業は、有資格者による作業を行う
- はつり、清掃時の小石・粉塵等の一般車及び路外への飛散には、充分注意を払う
- 火災防止処置を行う
- 規制内での作業開始前に避難場所を定めて、「避難訓練」を実施する